

資料編

1. 策定の経過
2. 新富町まち・ひと・しごと創生有識者会議
3. 新富町まち・ひと・しごと創生有識者会議設置要綱等
4. 町民意識調査結果

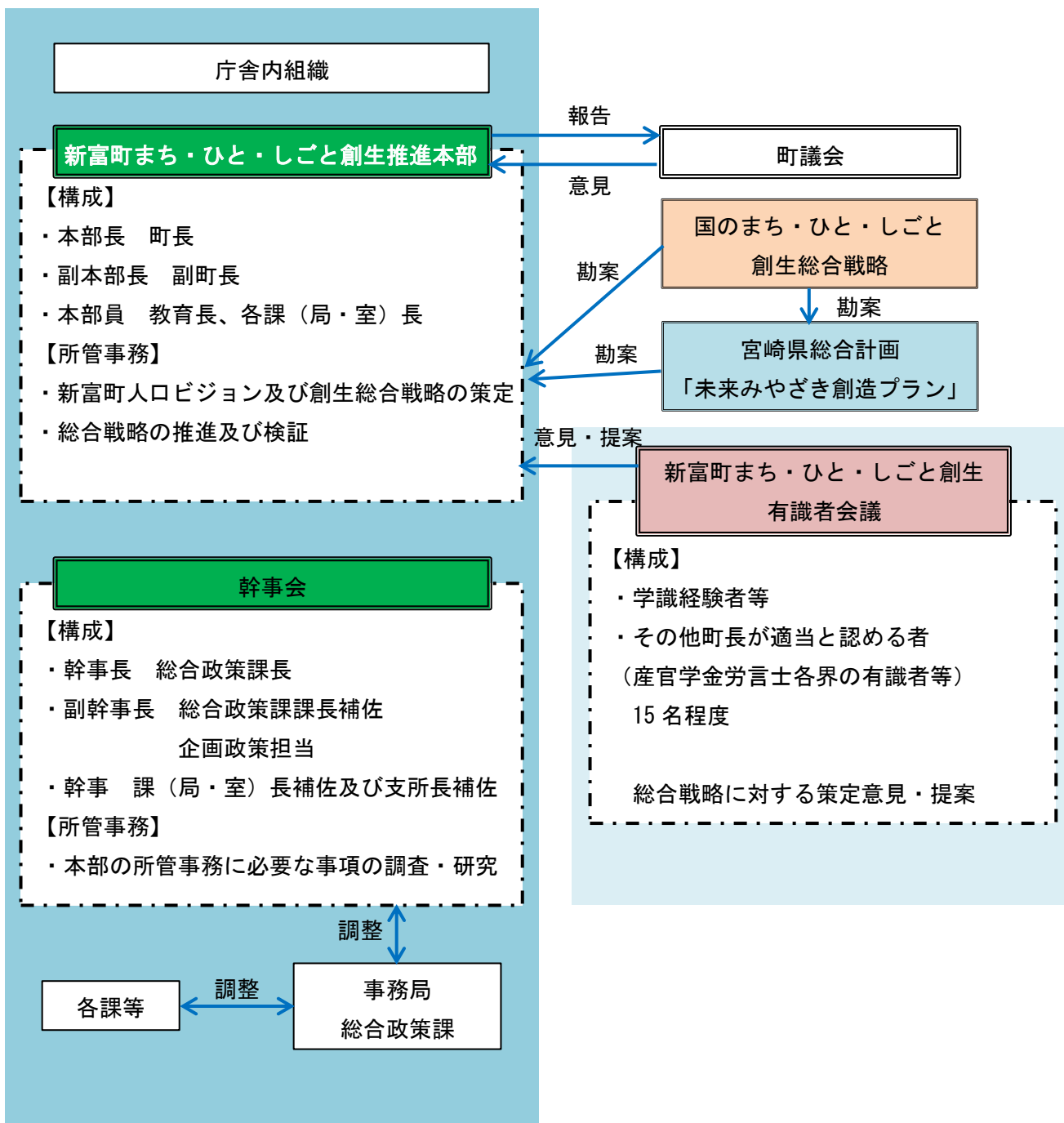


1 策定の経過

○新富町まち・ひと・しごと創生の推進体制

日 程	会議名	内 容
令和元年 8 月 23 日	第 1 回推進本部会議	<ul style="list-style-type: none"> 地方創生と新富町の取り組みについて 第 2 期総合戦略の策定について 地方創生交付金について
令和元年 8 月 27 日	第 1 回有識者会議	<ul style="list-style-type: none"> 推進体制及び今後の策定スケジュールについて まち・ひと・しごと創生の概要について 本町の取り組みと平成 30 年度地方創生推進交付金事業の効果検証について アンケート調査の実施について
令和元年 9 月 25 日	第 1 回幹事会	<ul style="list-style-type: none"> 地方創生と新富町の取り組みについて 地方創生交付金について 第 2 期総合戦略の策定について 第 1 期総合戦略の検証について
令和元年 11 月 1 日	第 2 回推進本部会議	<ul style="list-style-type: none"> 人口ビジョンの見直しについて 第 1 期総合戦略の検証、及びアンケート結果報告について
令和元年 11 月 5 日	第 2 回有識者会議	<ul style="list-style-type: none"> 人口ビジョンの見直しについて 第 1 期総合戦略の検証、及びアンケート調査結果の報告について
令和元年 12 月 25 日	第 2 回幹事会	<ul style="list-style-type: none"> 人口ビジョンの検証について 第 2 期総合戦略（案）について 情報等の提供について
令和 2 年 1 月 10 日	第 3 回推進本部会議	<ul style="list-style-type: none"> 第 2 期総合戦略（案）について
令和 2 年 1 月 23 日	第 3 回有識者会議	<ul style="list-style-type: none"> 人口ビジョンの見直し（案）及び第 2 期総合戦略（案）について
令和 2 年 2 月 20 日	第 4 回有識者会議	<ul style="list-style-type: none"> 第 3 回開催時素案からの変更点について パブリックコメントの応募結果について 令和 2 年度以降の実施事業について
令和 2 年 3 月 3 日	第 3 回幹事会	<ul style="list-style-type: none"> 人口ビジョンの見直しについて 第 2 期総合戦略素案 幹事会提示後の変更点について パブリックコメント・有識者会議意見について 第 2 期総合戦略の検証体制について 令和 2 年度以降の実施事業について
令和 2 年 3 月 16 日	第 4 回推進本部会議	<ul style="list-style-type: none"> 人口ビジョンの見直しについて 第 2 期総合戦略素案 第 3 回会議提示後の変更点について パブリックコメント・有識者会議意見について 第 2 期総合戦略の検証体制について 令和 2 年度以降の実施事業について

○新富町まち・ひと・しごと創生の推進体制





2 新富町まち・ひと・しごと創生有識者会議

○有識者会議委員名簿

	所 属	氏 名	備 考
1	新富町区長会 会長	桑名 博之	住民代表
2	新富町議会 総務産業常任委員長	出口 喜重郎	議会代表
3	新富町商工会 会長	井崎 美恵子	産業界
4	ハマナカホビール（株）宮崎工場 工場長	西村 徳弘	産業界
5	児湯農業協同組合 新富支所長	長町 正一	産業界
6	農業生産者（施設園芸）	福山 望	産業界
7	農業生産者（畜産）	松本 哲也	産業界
8	宮崎県児湯農林振興局 局長	外山 直一	行政機関
9	新富町教育委員会 教育委員	三好 正明	教育機関
10	前南九州大学事務部長兼地域連携推進室長	金丸 行雄	教育機関
11	高鍋信用金庫 新富支店長	比恵島 仁志	金融機関
12	宮崎銀行 新富支店長	河村 正大	金融機関
13	東児湯地区労組会議 事務局次長	和田 ちづる	労働団体
14	鉾脈社 編集部長	藤本 敦子	言論・報道機関
15	宮崎放送 報道制作局テレビ制作部	寺坂 穂乃香	言論・報道機関
16	金丸寛税理士事務所	金丸 寛	士業

○事務局

所属	係名	職名	氏名
総合政策課	企画政策係	課長	池田 真二
		課長補佐	有馬 義人
		係長	岩本 弥生
		主任主事	佐山 雄樹
		主任主事	湯浅 翔太
	まちづくり推進室	室長	比江島 信也
	まちづくり係	係長	森 卓代

3 新富町まち・ひと・しごと創生有識者会議設置要綱等

○新富町まち・ひと・しごと創生推進本部設置要綱

(設置)

第1条 本町における少子化及び人口減少に歯止めをかけ、将来にわたって活力ある地域を維持していくための全庁的な施策の推進を図るため、新富町まち・ひと・しごと創生推進本部（以下「本部」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 本部の所掌事務は、次に掲げる事項とする。

- (1) 新富町人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生法に基づく「新富町まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下「総合戦略」という。）の策定に関すること。
- (2) 総合戦略の推進及び検証に関すること。
- (3) その他本部長が必要と認める事項

(組織)

第3条 本部は、本部長、副本部長及び本部員をもって組織する。

- 2 本部長は町長をもって充て、副本部長は副町長をもって充てる。
- 3 本部員は、別表1に掲げる職にある職員をもって充てる。

(職務)

第4条 本部長は本部を代表し、会務を総理する。

- 2 副本部長は本部長を補佐し、本部長に事故があるとき、又は欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 本部長は、会議を招集し、本部長がその議長となる。

- 2 本部長は、必要があると認めるときは、本部員以外の者を会議に出席させ、意見又は説明を聴き、若しくは資料の提出を求めることができる。

(幹事会)

第6条 本部の事務を補助させるため、本部に幹事会を置く。

- 2 幹事会は、幹事長、副幹事長及び幹事をもって組織し、別表2に掲げる職にある者をもって充てる。
- 3 幹事会は、本部の必要な事項について調査、研究する。

(庶務)

第7条 本部の庶務は、総合政策課において処理する。



(委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか、本部の運営に関し必要な事項は、本部長が別に定める。

附 則

この告示は、公表の日から施行する。

附 則（平成30年7月31日告示第76号）

この告示は、平成30年8月1日から施行する。

別表1（第3条関係）

本部長	町長
副本部長	副町長
本部員	教育長 課長、局長、室長及び対策監

別表2（第6条関係）

幹事長	総合政策課長
副幹事長	総合政策課課長補佐 企画政策担当
幹 事	課長補佐、局長補佐、室長補佐及び支所長補佐

○新富町まち・ひと・しごと創生有識者会議設置要綱

(設置)

第1条 新富町まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「総合戦略」という。）に関して、広く有識者からの意見を聴取するため、新富町まち・ひと・しごと創生有識者会議（以下「有識者会議」という。）を置く。

(構成員等)

第2条 有識者会議の構成員は、学識経験のある者等その他町長が適当と認める者のうちから、町長が選任する。

2 構成員の任期は、選任した日の属する年度の次年度末までとし、再任は妨げない。また、構成員が欠けた場合における補欠構成員の任期は、前任者の在任期間とする。

3 構成員は、非常勤とする。

(会議)

第3条 有識者会議は、総合戦略を検討する際、町長が必要と認めたときに開催する。

(報酬等)

第4条 構成員の報酬及び費用弁償については、新富町特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例（昭和50年新富町条例第2号）の定めるところによる。

(庶務)

第5条 有識者会議に関する庶務は、総合政策課で処理する。

(補則)

第6条 この要綱を定めるもののほか、有識者会議の運営に関し必要な事項は町長が別に定める。

附 則

この告示は、平成27年4月1日から施行する。

附 則(平成30年7月31日告示第76号)

この告示は、平成30年8月1日から施行する。



4 町民意識調査結果

本町の人口ビジョンの見直しと第2期総合戦略を策定するにあたり、地域住民（学生や企業等を含む）の意見をアンケート調査により把握しました。

（1）調査の概要

① アンケート調査の目的

- ◆本町の人口の将来を展望するにあたり、地域住民の意向を把握するため
- ◆地方創生の推進に資する情報を得るため

② 調査対象

区 分		調査対象
町 民		住民基本台帳に記載された18歳以上（平成31年4月1日現在）の町民から、男女1,000人を無作為抽出
学 生	中学3年生	富田中学校、新田中学校、上新田中学校の3年生
	高校3年生	町内在住の高校3年生
企業・団体		新富町商工会会員および準会員

③ 調査期間

令和元年9月～10月

④ アンケート回収数

＜アンケート回収数の内訳＞

区 分		配布数	回収数	回収率
町 民		1,000部	348部	34.8%
学 生	中学3年生	154部	154部	100%
	高校3年生	175部	51部	29.1%
企業・団体		342部	153部	44.7%

※町内の中学3年生以外は、郵送による調査を実施

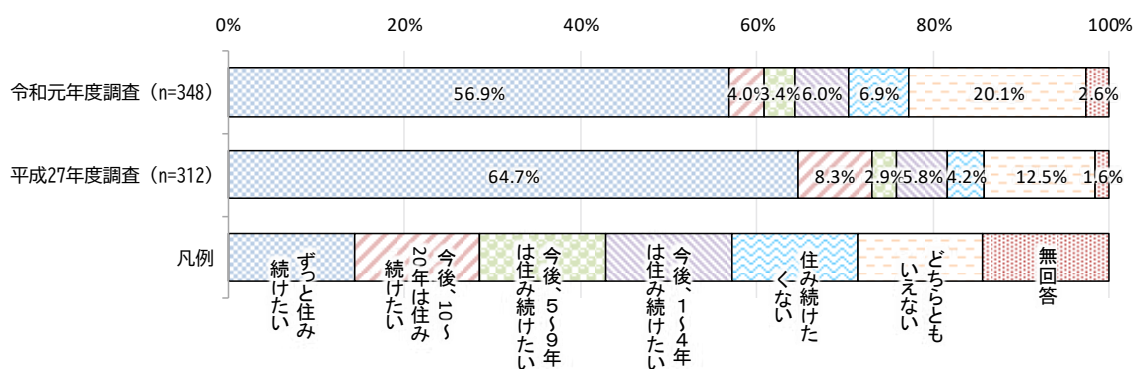
(2) アンケート調査結果

■町民

問 これからも新富町に住み続けたいと思っていますか。(単数回答)

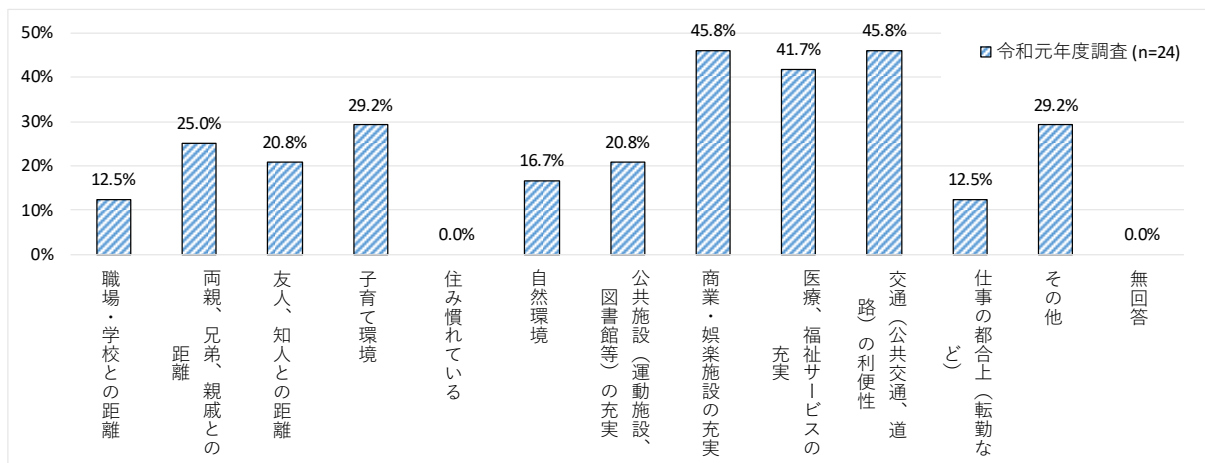
◇「ずっと住み続けたい」(56.9%)が最も高く、次いで「どちらともいえない」(20.1%)、「住み続けたくない」(6.9%)となっています。

◇前回調査結果と比較すると、本調査の結果においては、「ずっと住み続けたい」は7.8ポイント低くなっており、「どちらともいえない」は7.6ポイント高くなっています。



【住み続けたくない人の理由】

◇「商業・娯楽施設の充実」「交通（公共交通、道路）の利便性」(45.8%) がともに最も高く、次いで「医療、福祉サービスの充実」(41.7%)、「子育て環境」(29.2%)となっています。

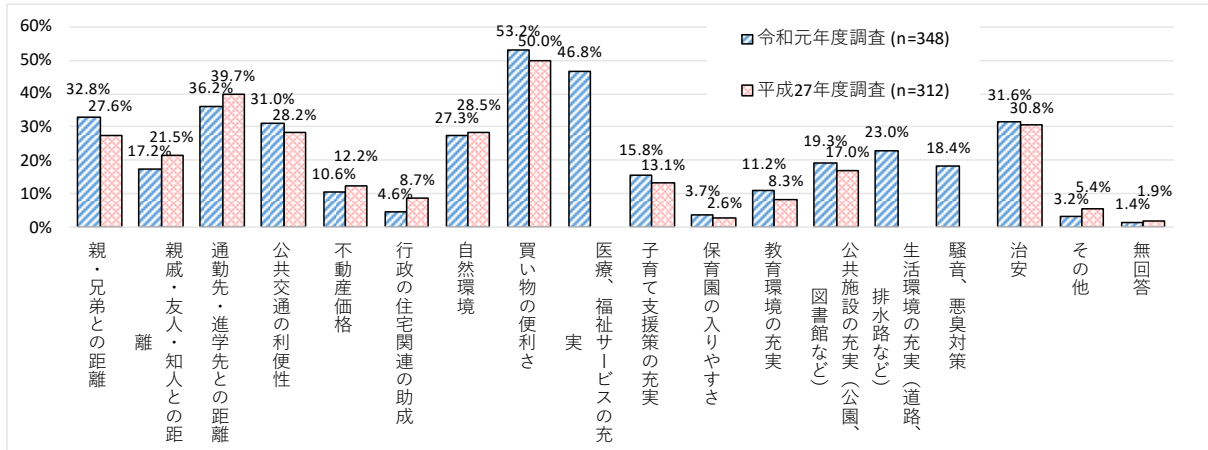




問 住む場所を決める際に重要と考えることは何ですか。(複数回答)

◇「買い物の便利さ」(53.2%)が最も高く、次いで「医療、福祉サービスの充実」(46.8%)、「通勤先・進学先との距離」(36.2%)となっています。

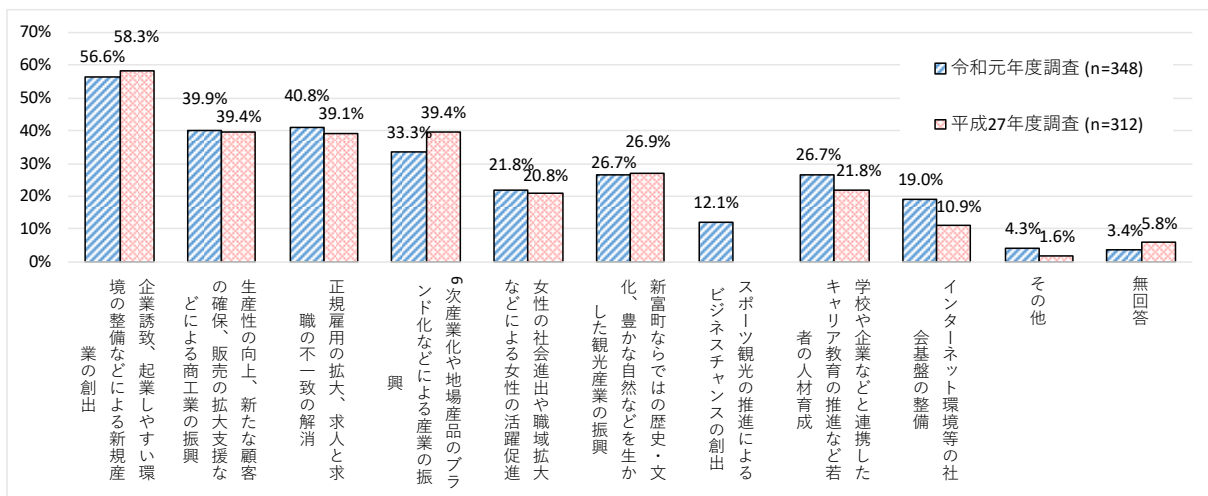
◇前回調査結果と比較すると、本調査の結果においては、「親・兄弟との距離」は5.2ポイント高くなっており、「通勤先・進学先との距離」は3.5ポイント低くなっています。



問 人口減少による、各産業における労働力の不足や生産量の低下を防ぐために、どのような取り組みに力を入れるべきだと思いますか。(複数回答)

◇「企業誘致、起業しやすい環境の整備などによる新規産業の創出」(56.6%)が最も高く、次いで「正規雇用の拡大、求人と求職の不一致の解消」(40.8%)、「生産性の向上、新たな顧客の確保、販売の拡大支援などによる商工業の振興」(39.9%)となっています。

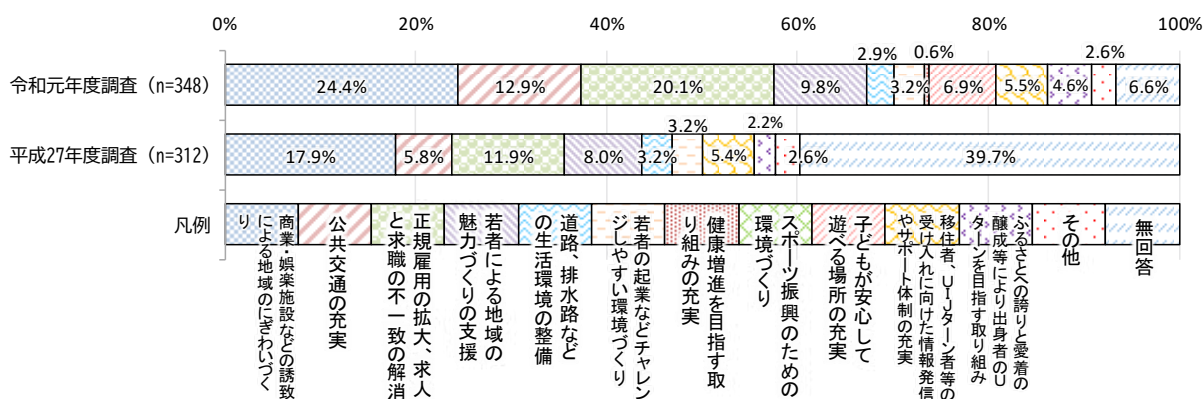
◇前回調査結果と比較すると、本調査の結果においては、「インターネット環境等の社会基盤の整備」が8.1ポイント高くなっています。



問 新富町外への転出による人口減少対策として力を入れるべき取り組みを、優先度の高いものから順に3つ選んでください。

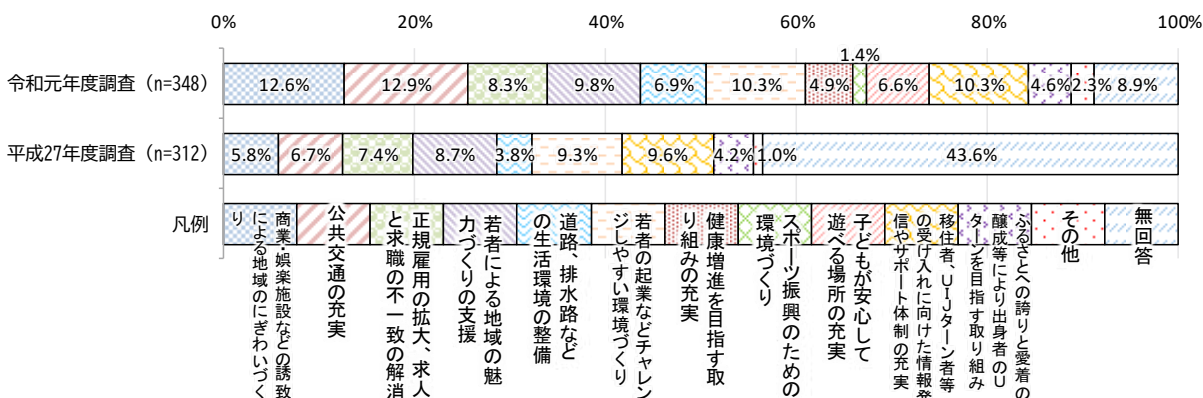
【最大の理由】

- ◇「商業・娯楽施設などの誘致による地域のにぎわいづくり」(24.4%)が最も高く、次いで「正規雇用の拡大求人と求職の不一致の解消」(20.1%)、「公共交通の充実」(12.9%)となっています。
- ◇前回調査結果と比較すると、本調査の結果においては、「公共交通の充実」が7.1ポイント、「正規雇用の拡大求人と求職の不一致の解消」が8.2ポイント高くなっています。



【第二の理由】

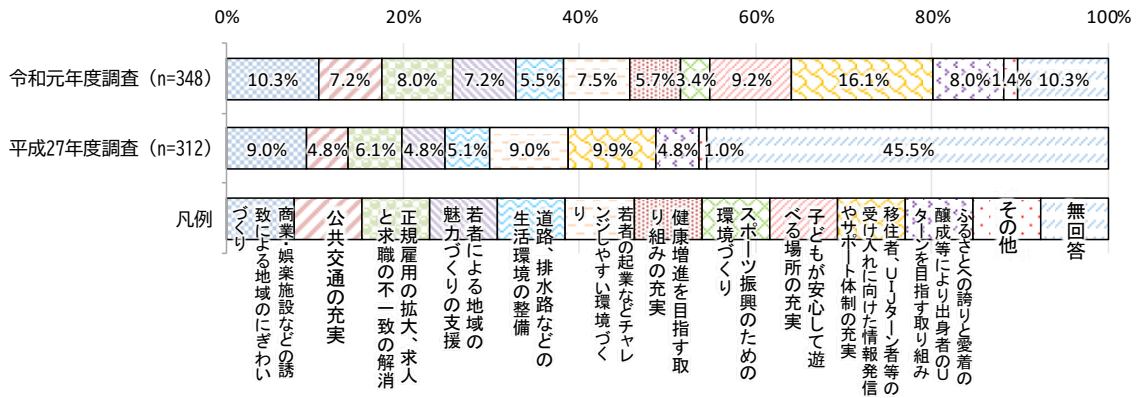
- ◇「公共交通の充実」(12.9%)が最も高く、次いで「商業・娯楽施設などの誘致による地域のにぎわいづくり」(12.6%)、「若者の起業などチャレンジしやすい環境づくり」・「移住者、U・I・Jターナー者等の受け入れに向けた情報発信やサポート体制の充実」(10.3%)となっています。
- ◇前回調査結果と比較すると、本調査の結果においては、「商業・娯楽施設などの誘致による地域のにぎわいづくり」が6.8ポイント、「公共交通の充実」が6.5ポイント高くなっています。





【第三の理由】

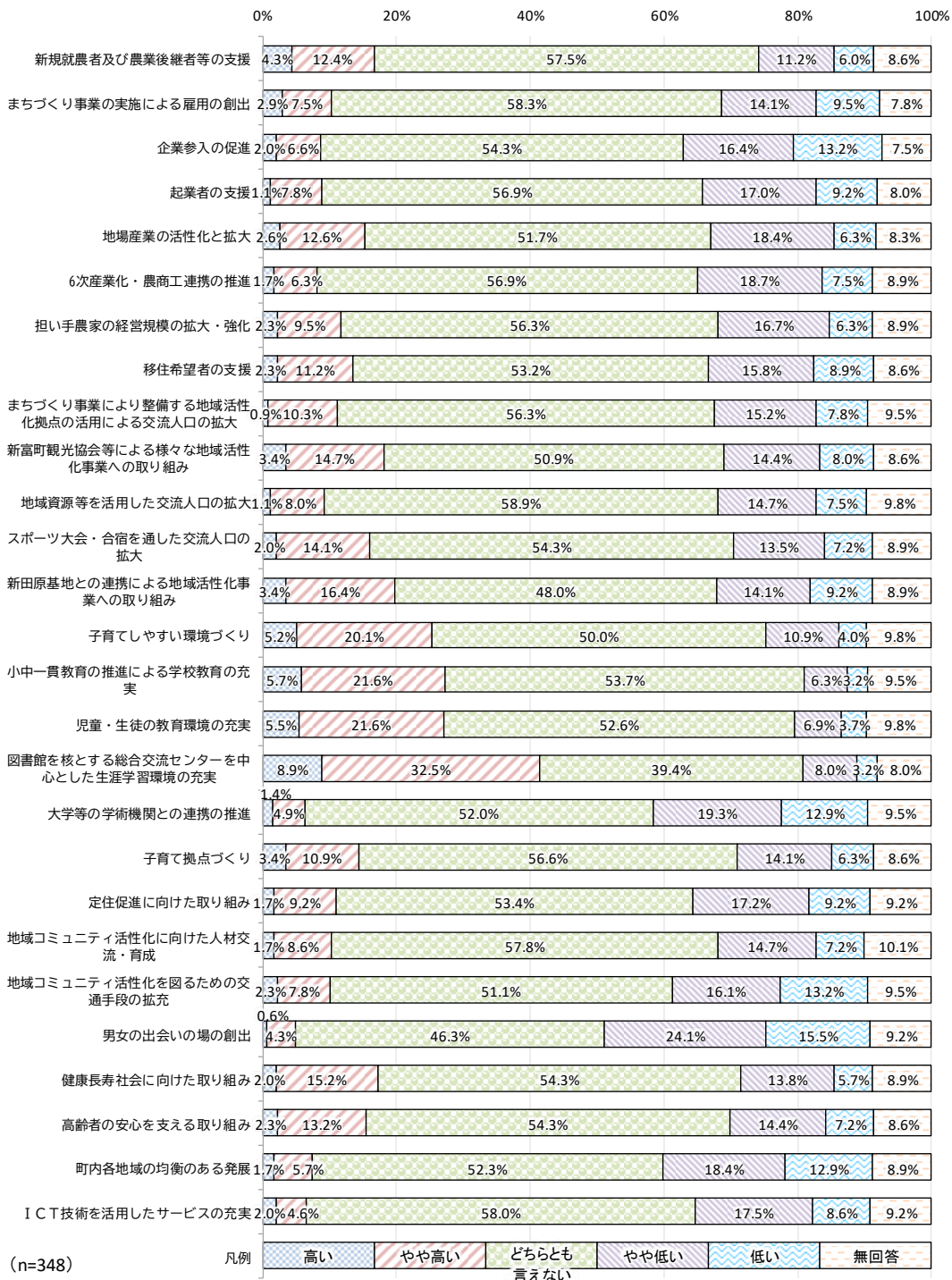
- ◇「移住者、U・Jターン者等の受け入れに向けた情報発信やサポート体制の充実」(16.1%)が最も高く、次いで「商業・娯楽施設などの誘致による地域のにぎわいづくり」(10.3%)、「子どもが安心して遊べる場所の充実」(9.2%)となっています。
- ◇前回調査結果と比較すると、本調査の結果においては、「移住者、U・Jターン者等の受け入れに向けた情報発信やサポート体制の充実」が6.2ポイント高くなっています。



問 新富町の人口減少の克服と地域活性化の推進を図るために、あなたのご意見をお伺いします。あなたは、各項目についてどの程度達成できていると思いますか。また、どの程度重要だと思いますか。(単数回答)

【達成度】

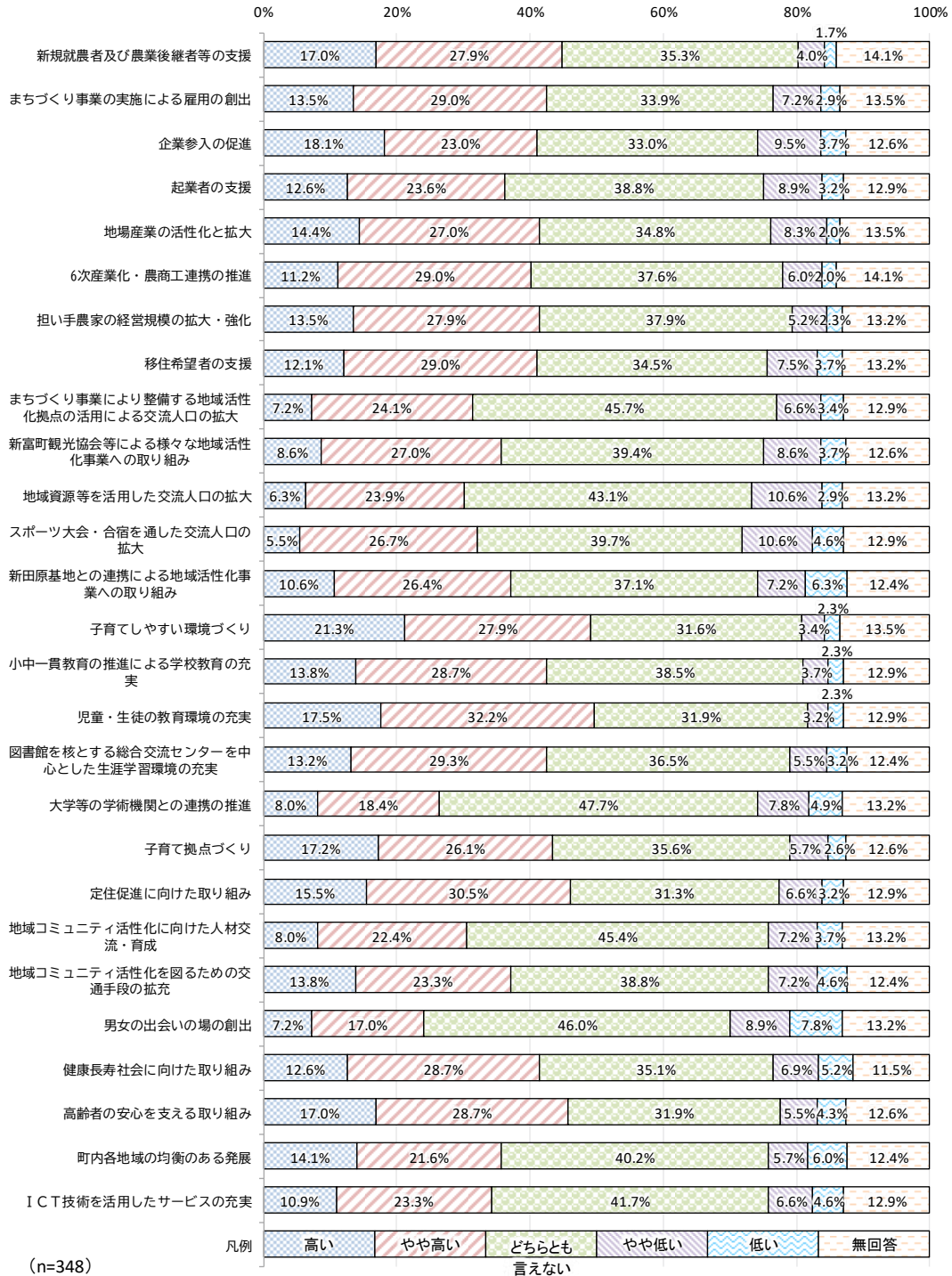
◇高い(「高い」と「やや高い」の割合の合計)においては、「図書館を核とする総合交流センターを中心とした生涯学習環境の充実」(41.4%)が最も高く、次いで「小中一貫教育の推進による学校教育の充実」(27.3%)、「児童・生徒の教育環境の充実」(27.0%)となっています。





【重要度】

◇高い（「高い」と「やや高い」の割合の合計）においては、「児童・生徒の教育環境の充実」（49.7％）が最も高く、次いで「子育てしやすい環境づくり」（49.1％）、「定住促進に向けた取り組み」（46.0％）となっています。





【達成度×重要度】

◇達成度、重要度それぞれの設問において、回答された選択肢によって点数を付けて項目ごとに平均しています。点数は、「高い」が2点、「やや高い」が1点、「どちらとも言えない」が0点、「やや低い」が-1点、「低い」が-2点としました。

	項目	達成度	重要度
1	新規就農者及び農業後継者等の支援	-0.03	0.63
2	まちづくり事業の実施による雇用の創出	-0.21	0.50
3	企業参入の促進	-0.35	0.48
4	起業者の支援	-0.28	0.39
5	地場産業の活性化と拡大	-0.14	0.50
6	6次産業化・農商工連携の推進	-0.26	0.48
7	担い手農家の経営規模の拡大・強化	-0.17	0.52
8	移住希望者の支援	-0.19	0.44
9	まちづくり事業により整備する地域活性化拠点の活用による交流人口の拡大	-0.21	0.29
10	新富町観光協会等による様々な地域活性化事業への取り組み	-0.10	0.32
11	地域資源等を活用した交流人口の拡大	-0.21	0.23
12	スポーツ大会・合宿を通じた交流人口の拡大	-0.11	0.20
13	新田原基地との連携による地域活性化事業への取り組み	-0.10	0.32
14	子育てしやすい環境づくり	0.13	0.72
15	小中一貫教育の推進による学校教育の充実	0.23	0.55
16	児童・生徒の教育環境の充実	0.20	0.68
17	図書館を核とする総合交流センターを中心とした生涯学習環境の充実	0.39	0.50
18	大学等の学術機関との連携の推進	-0.41	0.20
19	子育て拠点づくり	-0.10	0.57
20	定住促進に向けた取り組み	-0.25	0.56
21	地域コミュニティ活性化に向けた人材交流・育成	-0.19	0.27
22	地域コミュニティ活性化を図るための交通手段の拡充	-0.33	0.39
23	男女の出会いの場の創出	-0.55	0.08
24	健康長寿社会に向けた取り組み	-0.07	0.42
25	高齢者の安心を支える取り組み	-0.12	0.56
26	町内各地域の均衡のある発展	-0.38	0.36
27	I C T技術を活用したサービスの充実	-0.29	0.34
	平均	-0.15	0.43



①重点改善項目

重要度が高いのに達成度が低い項目です。最優先で改善しなければならない項目となります。

②改善項目

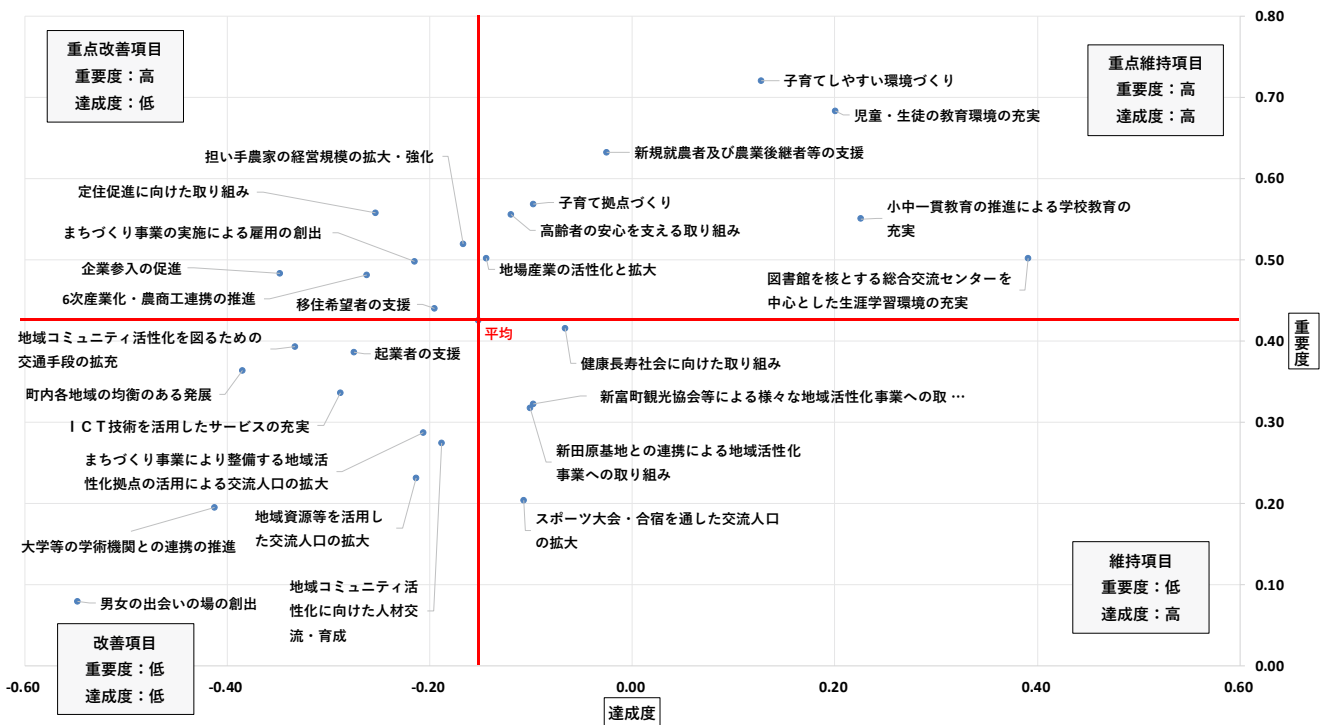
重要度も達成度も低い項目です。重点改善項目の次に改善を必要とする項目となります。

③重点維持項目

重要度も達成度も高い項目なので、引き続き項目の達成度が下がらないようにする必要があります。

④維持項目

達成度は高いが、重要度は低い項目となります。達成度は高いので維持する必要があります。



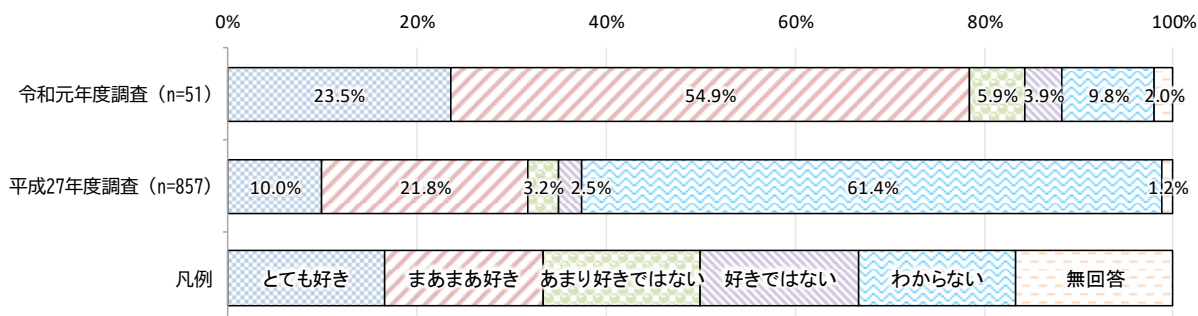
重点改善項目	
1	まちづくり事業の実施による雇用の創出
2	企業参入の促進
3	6次産業化・農商工連携の推進
4	担い手農家の経営規模の拡大・強化
5	移住希望者の支援
6	定住促進に向けた取り組み

■高校生・中学生

問 新富町のことをどのように思っていますか。(単数回答)

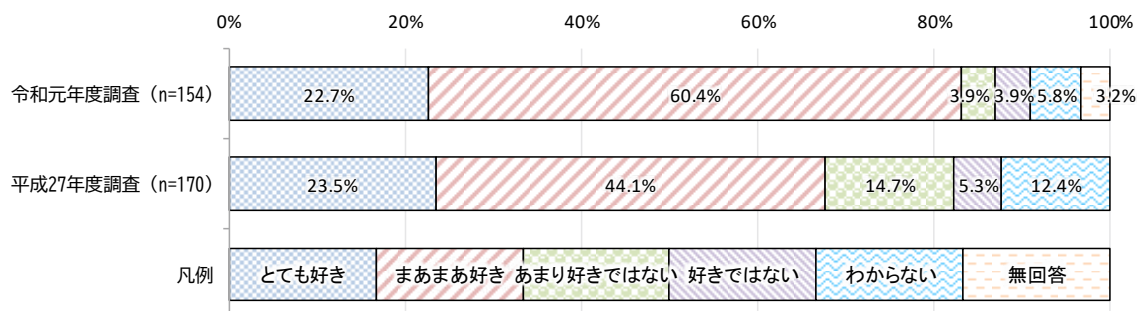
○高校生

◇好き(「とても好き」と「まあまあ好き」の割合の合計)と答えた方は78.4%と約8割を占めており、前回調査結果と比較すると、本調査の結果においては46.6ポイント高くなっています。



○中学生

◇好き(「とても好き」と「まあまあ好き」の割合の合計)と答えた方は83.1%と8割以上を占めており、前回調査結果と比較すると、本調査の結果においては15.5ポイント高くなっています。

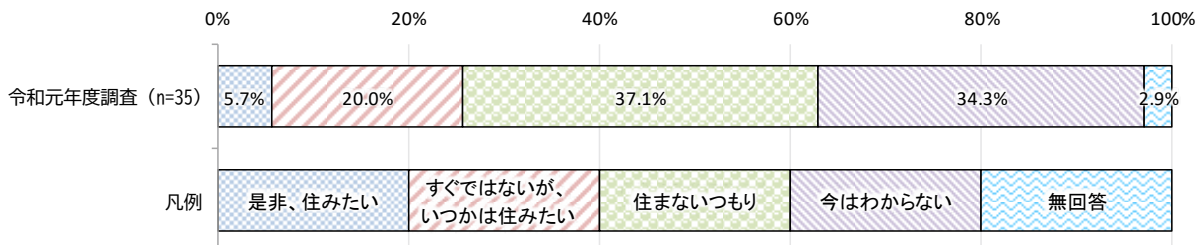




問 進学した学校を卒業したあと、新富町に住みたいと思いますか。(単数回答)
(希望している進学先に行けると想定してお答えください)

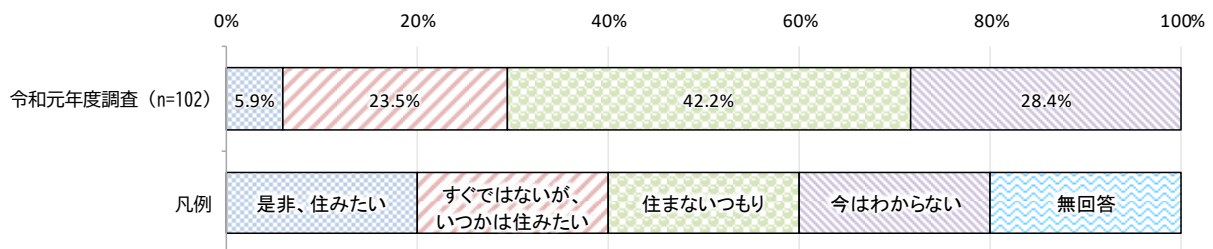
○高校生

◇「住まないつもり」(37.1%)が最も高く、次いで「今はわからない」(34.3%)、「すぐではないが、いつかは住みたい」(20.0%)となっています。



○中学生

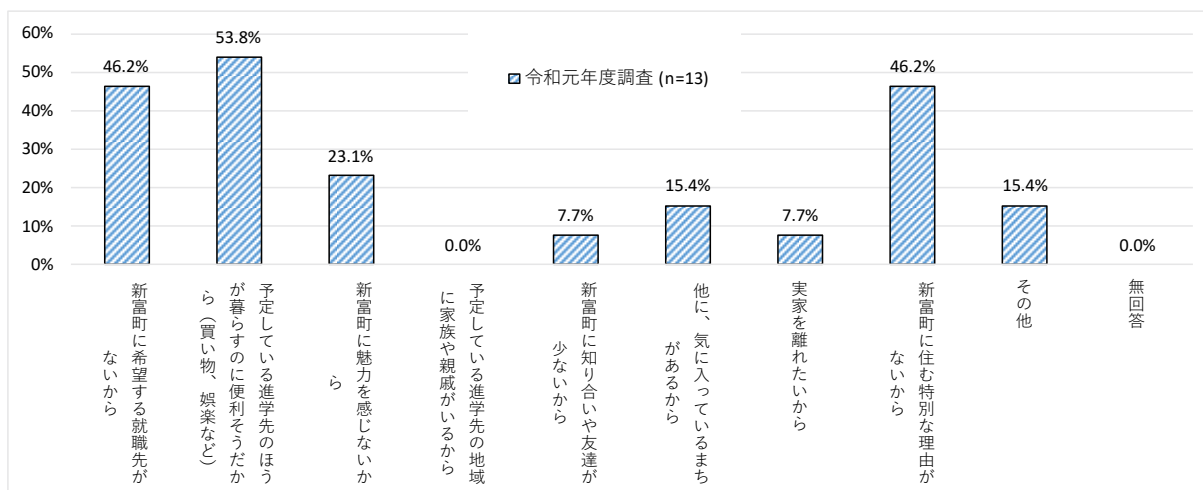
◇「住まないつもり」(42.2%)が最も高く、次いで「今はわからない」(28.4%)、「すぐではないが、いつかは住みたい」(23.5%)となっています。



【「3. 住まないつもり」を選択した方の理由（複数回答）】

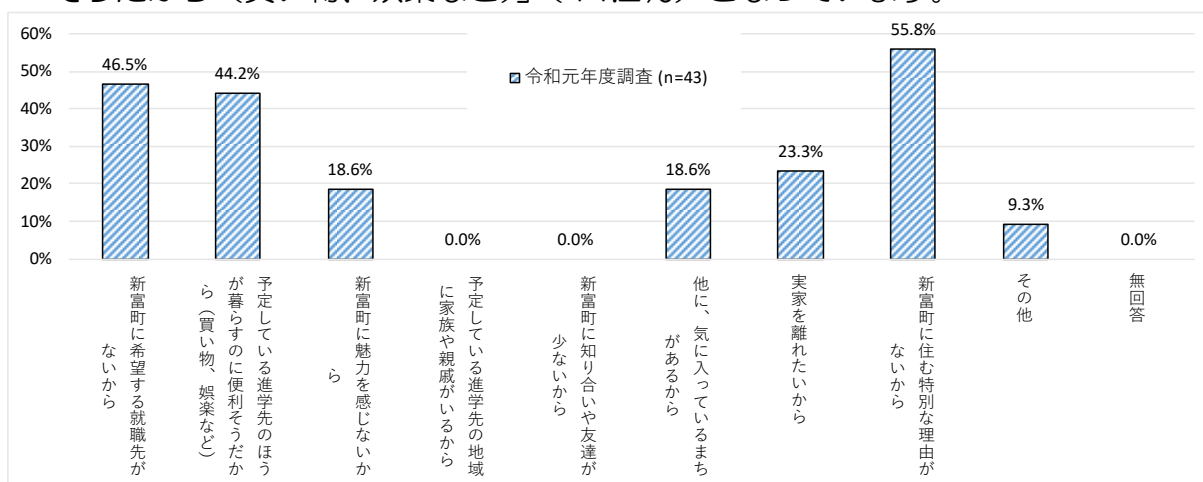
○高校生

◇「予定している進学先のほうが暮らすのに便利そうだから（買い物、娯楽など）」（53.8%）が最も高く、次いで「新富町に希望する就職先がないから」・「新富町に住む特別な理由がないから」（46.2%）となっています。



○中学生

◇「新富町に住む特別な理由がないから」（55.8%）が最も高く、次いで「新富町に希望する就職先がないから」（46.5%）、「予定している進学先のほうが暮らすのに便利そうだから（買い物、娯楽など）」（44.2%）となっています。

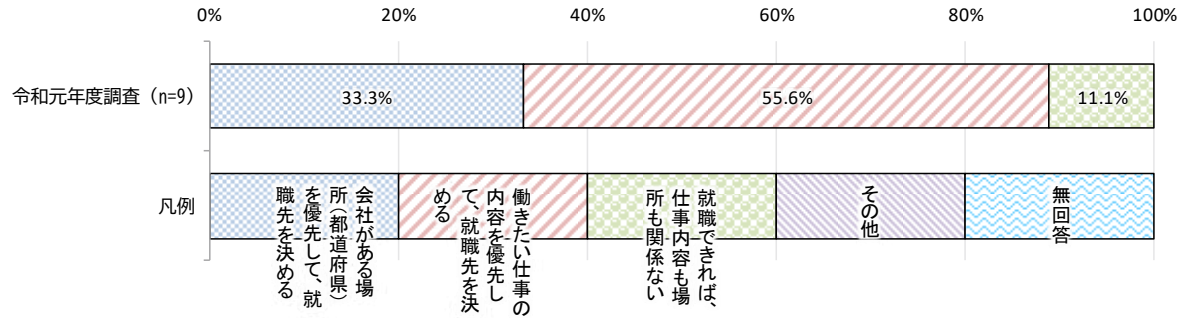




問 就職先を選ぶ際の優先度について（単数回答）

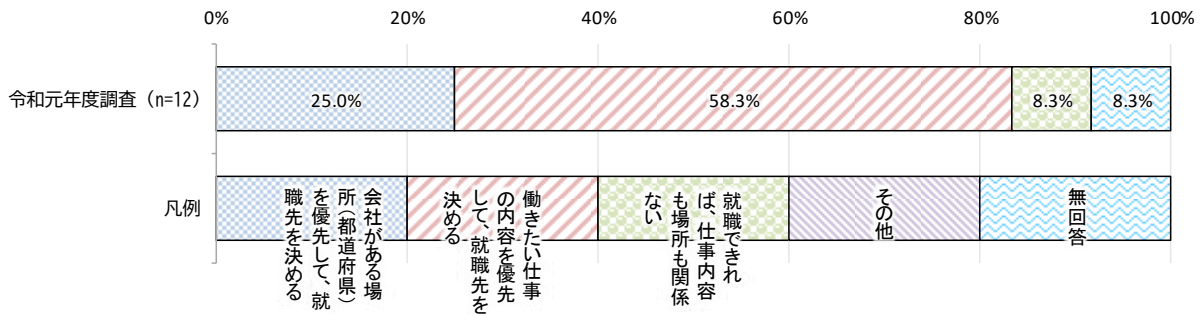
○高校生

◇「働きたい仕事の内容を優先して、就職先を決める」（55.6%）が最も高く、次いで「会社がある場所（都道府県）を優先して、就職先を決める」（33.3%）、「就職できれば、仕事内容も場所も関係ない」（11.1%）となっています。



○中学生

◇「働きたい仕事の内容を優先して、就職先を決める」（58.3%）が最も高く、次いで「会社がある場所（都道府県）を優先して、就職先を決める」（25.0%）、「就職できれば、仕事内容も場所も関係ない」（8.3%）となっています。





問 就職先を決める先に、重要だと思うこと

○高校生

◇第1位に回答されると5点、第2位が4点、第3位が3点、第4位が2点、第5位が1点、と点数をつけて、順位付けをしたところ、「給料が高い」が最も高く23点、次いで「安定している（将来性がある）」が20点、「自分が興味のある仕事である」が18点となっています。

n=9

順位	項目	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	点数
1	給料が高い	2	2	1	1	0	23
2	安定している（将来性がある）	3	1	0	0	1	20
3	自分が興味のある仕事である	1	3	0	0	1	18
4	大企業で有名である	1	2	0	0	0	13
5	休みがとりやすい	1	0	1	1	1	11
6	働きながらスキルアップができる	0	0	1	3	1	10
7	正社員雇用である	1	0	1	0	0	8
8	実家から通える	0	0	1	1	0	5
	人や地域のために仕事ができる	0	0	0	2	1	5
10	親の意見	0	0	1	0	1	4
11	自分の知識や技術が活かせる	0	0	1	0	0	3
	自分の夢を実現できる	0	0	1	0	0	3
13	残業が少ない	0	0	0	0	1	1
	先輩や友人がいる	0	0	0	0	1	1
15	自分の実力で昇進できる	0	0	0	0	0	0
	国際的な仕事ができる	0	0	0	0	0	0

※網掛けをしているところは、平均点数よりも高い項目です。



○中学生

◇第1位に回答されると5点、第2位が4点、第3位が3点、第4位が2点、第5位が1点、と点数をつけて、順位付けをしたところ、「安定している（将来性がある）」が最も高く105点、次いで「自分が興味のある仕事である」が104点、「給料が高い」が97点、「自分の知識や技術が活かせる」が63点、「自分の夢を実現できる」が62点となっています。

n=48

順位	項目	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	点数
1	安定している（将来性がある）	8	7	9	3	4	105
2	自分が興味のある仕事である	12	6	2	5	4	104
3	給料が高い	7	10	4	3	4	97
4	自分の知識や技術が活かせる	3	4	5	7	3	63
5	自分の夢を実現できる	7	3	2	3	3	62
6	人や地域のために仕事ができる	1	2	4	4	2	35
7	休みがとりやすい	0	2	6	1	5	33
8	働きながらスキルアップができる	1	1	2	5	2	27
9	自分の実力で昇進できる	1	0	2	5	2	23
10	残業が少ない	0	1	1	3	4	17
11	正社員雇用である	1	2	0	0	2	15
12	実家から通える	0	1	2	0	0	10
13	大企業で有名である	0	1	0	1	3	9
14	親の意見	0	0	1	0	2	5
15	国際的な仕事ができる	0	1	0	0	0	4
16	先輩や友人がいる	0	0	0	0	0	0

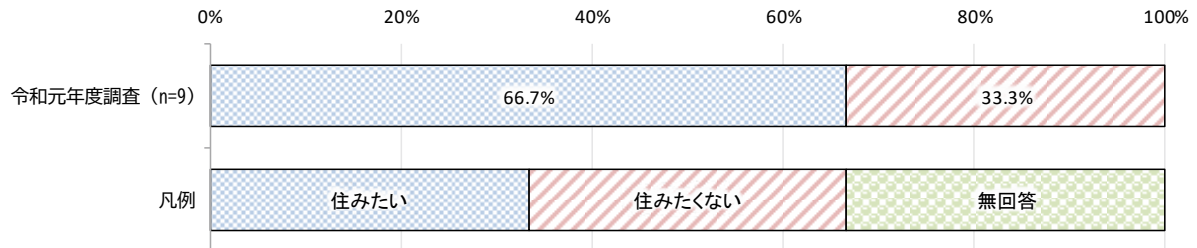
※網掛けをしているところは、平均点数よりも高い項目です。



問 あなたが希望している仕事に就職ができると想定した場合に、新富町に住みたいと思いますか。(単数回答)

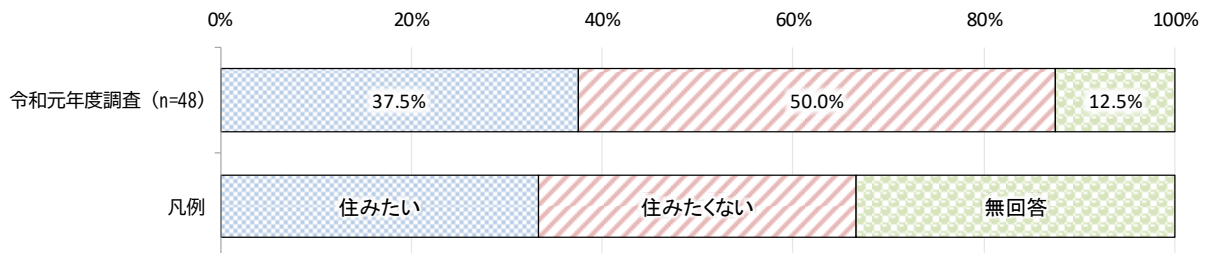
○高校生

◇「住みたい」(66.7%)が最も高く、次いで「住みたくない」(33.3%)となっています。



○中学生

◇「住みたくない」(50.0%)が最も高く、次いで「住みたい」(37.5%)となっています。

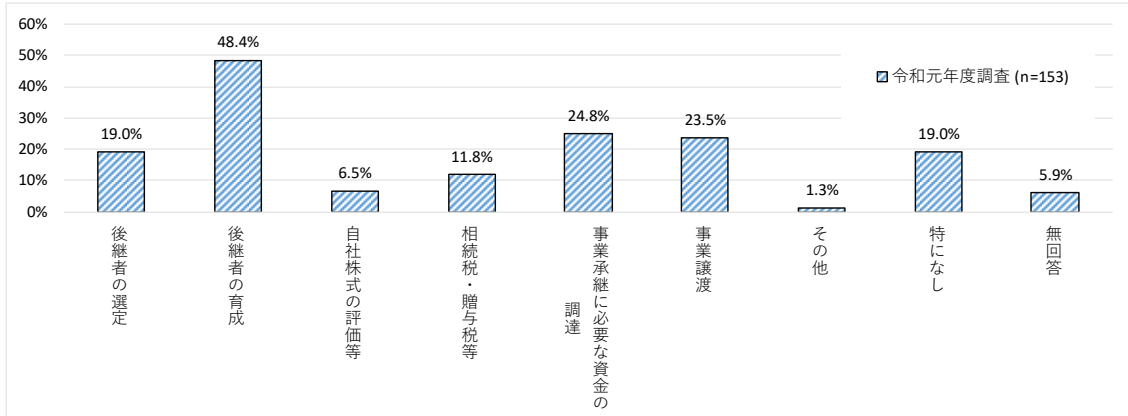




■企業・団体

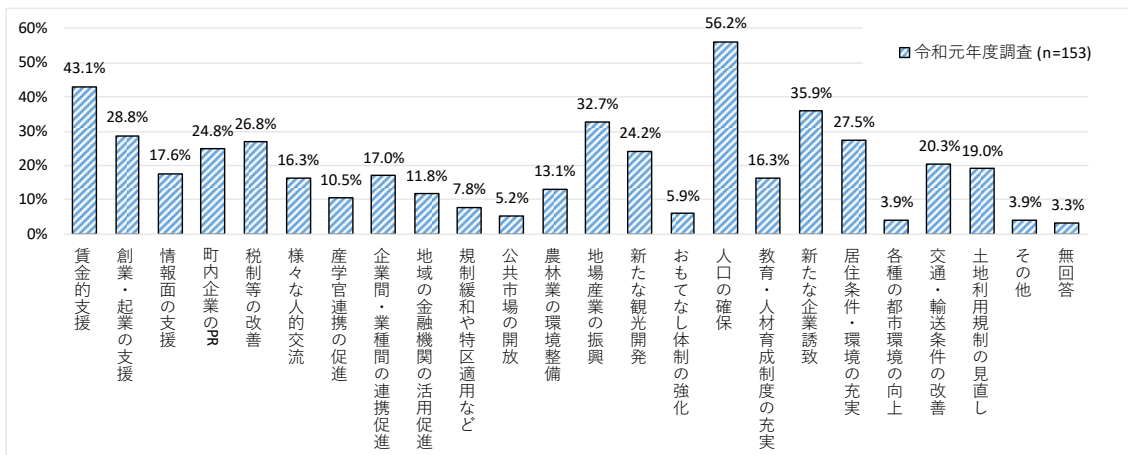
問 事業承継に関し、どのような事に関心がありますか。(複数回答)

◇「後継者の育成」(48.4%)が最も高く、次いで「事業承継に必要な資金の調達」(24.8%)「事業譲渡」(23.5%)となっています。



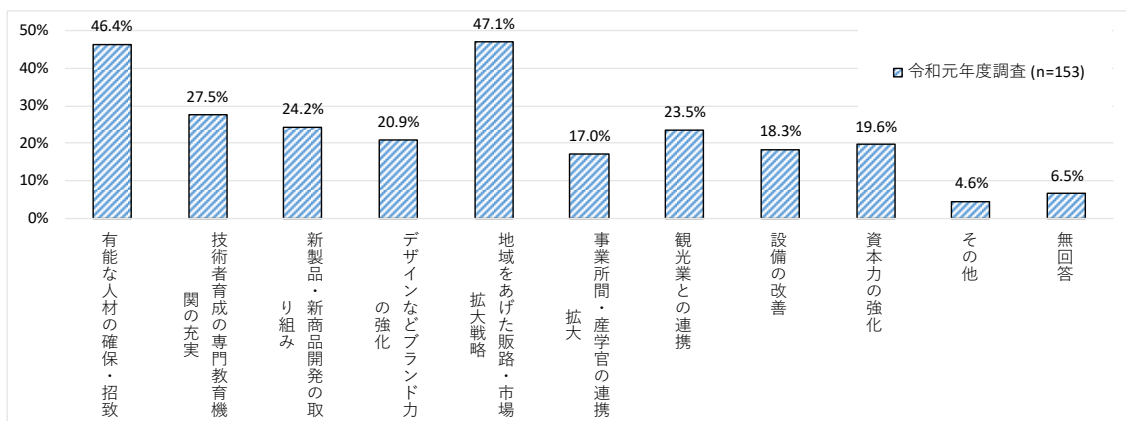
問 新富町の産業振興、経済活性化のために特に必要なことは何だと思えますか。(複数回答)

◇「人口の確保」(56.2%)が最も高く、次いで「資金的支援」(43.1%)、「新たな企業誘致」(35.9%)となっています。



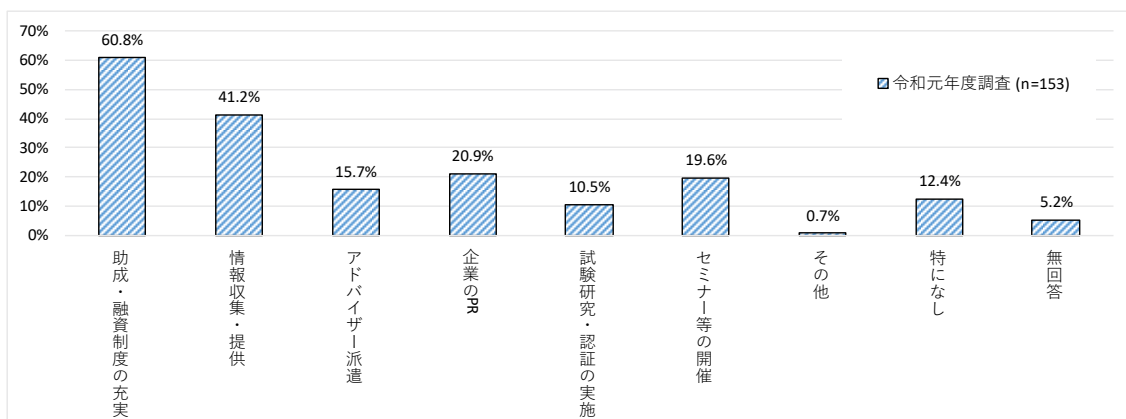
問 新富町の地場産業を維持・再生していくために必要なことは何だと思えますか。
(複数回答)

◇「地域をあげた販路・市場拡大戦略」(47.1%)が最も高く、次いで「有能な人材の確保・招致」(46.4%)、「技術者育成の専門教育機関の充実」(27.5%)となっています。



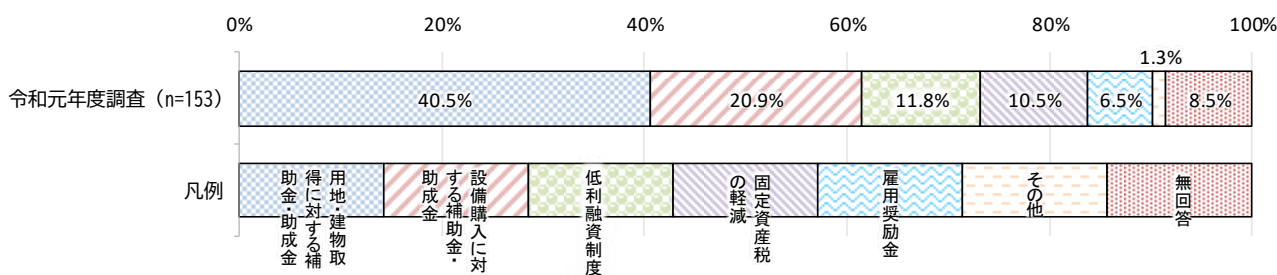
問 新たな事業の展開に当たって、どのような公的支援を期待しますか。(複数回答)

◇「助成・融資制度の充実」(60.8%)が最も高く、次いで「情報収集・提供」(41.2%)、「企業のPR」(20.9%)となっています。



問 新富町への企業誘致・企業立地の施策として、どのような取り組みに力を入れるべきだと思えますか。

◇「用地・建物取得に対する補助金・助成金」(40.5%)が最も高く、次いで「設備購入に対する補助金・助成金」(20.9%)、「低利融資制度」(11.8%)となっています。





問 若者が何を重視して就職先を決めていると思いますか。

◇第1位に回答されると5点、第2位が4点、第3位が3点、第4位が2点、第5位が1点、と点数をつけて、順位付けをしたところ、「給料が高い」が最も高く408点、次いで「安定している(将来性がある)」が336点、「休みがとりやすい」が328点となっています。

n=153

順位	項目	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	点数
1	給料が高い	44	18	26	15	8	408
2	安定している(将来性がある)	28	22	16	20	20	336
3	休みがとりやすい	21	32	11	23	16	328
4	自分が興味のある仕事である	21	16	13	12	11	243
5	正社員雇用である	8	16	22	9	14	202
6	残業が少ない	4	16	17	14	19	182
7	自分の知識や技術が活かせる	5	7	10	13	7	116
8	大企業で有名である	9	3	7	5	7	95
9	人や地域のために仕事ができる	1	4	7	2	5	51
	実家から通える	0	2	3	12	10	51
11	自分の夢を実現できる	2	4	2	3	6	44
12	自分の実力で昇進できる	2	2	2	5	3	37
13	先輩や友人がいる	0	0	6	5	3	31
14	働きながらスキルアップができる	0	2	3	2	5	26
15	親の意見	1	1	0	1	8	19
16	国際的な仕事ができる	0	0	0	2	0	4

※網掛けをしているところは、平均点数よりも高い項目です。

【企業・団体、高校生、中学生の上位5項目の比較】

	順位	項目	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	点数
企業・団体 (n=153)	1	給料が高い	44	18	26	15	8	408
	2	安定している(将来性がある)	28	22	16	20	20	336
	3	休みがとりやすい	21	32	11	23	16	328
	4	自分が興味のある仕事である	21	16	13	12	11	243
	5	正社員雇用である	8	16	22	9	14	202
高校生 (n=9)	1	給料が高い	2	2	1	1	0	23
	2	安定している(将来性がある)	3	1	0	0	1	20
	3	自分が興味のある仕事である	1	3	0	0	1	18
	4	大企業で有名である	1	2	0	0	0	13
	5	休みがとりやすい	1	0	1	1	1	11
中学生 (n=48)	1	安定している(将来性がある)	8	7	9	3	4	105
	2	自分が興味のある仕事である	12	6	2	5	4	104
	3	給料が高い	7	10	4	3	4	97
	4	自分の知識や技術が活かせる	3	4	5	7	3	63
	5	自分の夢を実現できる	7	3	2	3	3	62